

令和3年度

大東市安心・いきいきネット相談支援センター  
活動報告書



大東市コミュニケーションソーシャルワーカー協議会  
令和4年7月作成

# もくじ

活動報告書を発行するにあたり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

CSW（コミュニティーソーシャルワーカー）とは・・・・・・・・・・・・・2

令和3年度 活動実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

令和3年度 個別相談件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

令和3年度 実人数割合件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

おわりに～各事業所より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

## 活動報告書を発行するにあたり

近年、核家族化に伴う単身世帯や高齢者のみの世帯の増加が進み、住民同士の社会的なつながりが希薄化しています。さらに、高齢者の「孤独死」や高齢者・障害者・児童への虐待、制度の狭間において困窮している人など、公的な福祉サービスだけでは対応できない地域における福祉や生活に関する課題も増えています。このような課題の多様化、複雑化により、1つの支援機関だけでは解決することが困難な複合的な課題を抱える人が増えています。また、コロナ禍の経験を踏まえ、孤独・孤立にどのような取り組みかということも顕著になりました。

大東市ではこういった課題に対応できる体制を構築するため、平成16年にコミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW という）を住道中学校区へ配置したことを皮切りに、平成17年度には全中学校区に配置し、市、民生委員児童委員、校区（地区）福祉委員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、CSW、自治区など、関係機関で情報を共有し、既存の福祉サービスだけでは対応困難な課題解決のため、地域における見守り・発見・つなぎ機能の強化を図ってきました。

その後、平成29年度には、きめ細やかな地域支援活動ができるように、小学校区へ変更になりました。

本活動報告書は、CSW が令和3年度に地域で活動した事柄を掲載しております。過去の活動報告書とともにご覧下さいますと、CSW の活動について、さらに理解を深めていただけるかと存じます。CSW の現状の活動が多くの方々にも周知され、ご理解いただけることを望むと共に「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」への一歩になれば幸いです。

令和4年7月

大東市福祉・子ども部福祉政策課

ご存知ですか？

# 安心・いきいきネットワーク 相談支援センター



大東市では、市内小学校区ごとに【安心・いきいきネットワーク相談支援センター】を設置して  
コミュニティソーシャルワーカー（CSW）と呼ばれる相談員を置いていきます。

## CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは

福祉の専門職で、地域の身近な相談員です。  
年齢や内容を問わず、さまざまな困りごとや悩みごとの相談に応じます。

例えば

- どこに相談したらいいか、わからない
- 生活が苦しい
- 家が片付かない
- 子供が働かない
- 引きこもっている
- 近所に気になる、心配な方がいる
- 子育てがしんどい
- 介護保険を使いたい

### 相談の流れ

- ★ 電話や訪問でお話を伺います
- ★ 解決方法を一緒に考えます
- ★ 制度やサービスの紹介、必要に応じて専門機関におつなぎします

相談は無料、秘密は厳守いたします  
どちらにご連絡いただいても連携をとり引き続き  
させていただきます

## 各安心・いきいきネットワーク相談支援センター（相談受付時間は事業所ごとで異なります）

小学校区	事業所名	住所	電話番号
北条	NPO法人ほうじょう	北条3-10-5 北条人権文化センター内	862-3212
四条	NPO法人大東野崎人権協会	野崎1-24-1 野崎人権文化センター内	879-8810
四条北・深野	NPO法人あとからゆっくり	南津の辺町2-21	813-7595
住道北・三箇	慶生会住道	三住町2-7シテイクラス201号	806-2880
泉・住道南	大東市社会福祉協議会	新町13-13	874-1082
灰塚			
水野・南郷	暮らしいきいき館	御嶺1-12-1 川村義肢株式会社内	875-8046
諸福	ホーリーハート大東	赤井3-5-11	874-1661

とりまとめは大東市福祉・子ども部福祉政策課

☎072-870-0435

# 令和3年度 活動実績

## 1.地域福祉の計画的な推進

### 【1】市町村地域福祉計画の支援

CSWが市町村地域福祉計画の策定及び将来の改訂にあたり市町村に行った情報提供

【2件】

### 【2】地域住民活動のコーディネート等

#### ① 住民懇談会の開催

【12件】

・CSWが主となり開催した地域での困りごとや課題、要援護者の見守りや発見のための情報交換を行った

#### ② 住民活動のコーディネート

【144件】

・地域の集いの場※1へ出向き、要援護者の見守りや情報共有を行った

※1 ふれあいサロン 子育てサロン 高齢者サロン

世代間交流イベント 地域交流会 介護者家族の会 等

#### ③ 要支援者等の組織化支援

【5件】

・住民グループの立ち上げにあたり、課題の聞き取り、助言、申請支援等を行った

#### ④ 既存の公的サービス等との協働（つなぎ）

【194件】

・市内外関係機関との連携、情報の共有、会議への参加を行った

～連携した関係機関～

地域包括支援センター、大東市社会福祉協議会、行政、介護保険サービス事業所、居宅介護支援事業所、保健所、医療機関、保育園、幼稚園、小学校、中学校、SSW、ハローワーク、障害者相談支援事業所 等

#### ⑤ 研究・開発した新たなサービス

【4件】

・地域において、要援護者等の支援に有用なサービスを研究・開発した

## 2. 要支援者に対する見守り・相談・つながりのセーフティネット体制づくり

### ① ケース検討会の開催

【31件】

- ・特に困難な支援ニーズ及び複数の機関等による連携が求められる事例に関して、ケース検討会を行った

### ② 地域住民等を対象とする研修会の開催

【13件】

- ・CSW が主となり、各種の保健福祉サービスをはじめとした資源の利用方法などの情報提供や地域の課題と思われるテーマに関して研修会を行った

### ③ 各種サービスの利用申請支援

【44件】

- ・公的サービスや民間サービス、ボランティア等の利用申請に関する支援を行った

↓ サロン活動の様子 (ホーリーハート大東)



↓ 空き家を活用した地域活動の紹介 (あとからゆっこり)



↓ 高齢者サロンの様子 (暮らしいきいき館)



↓ 空き家を活用したイベントの開催 (あとからゆっこり)

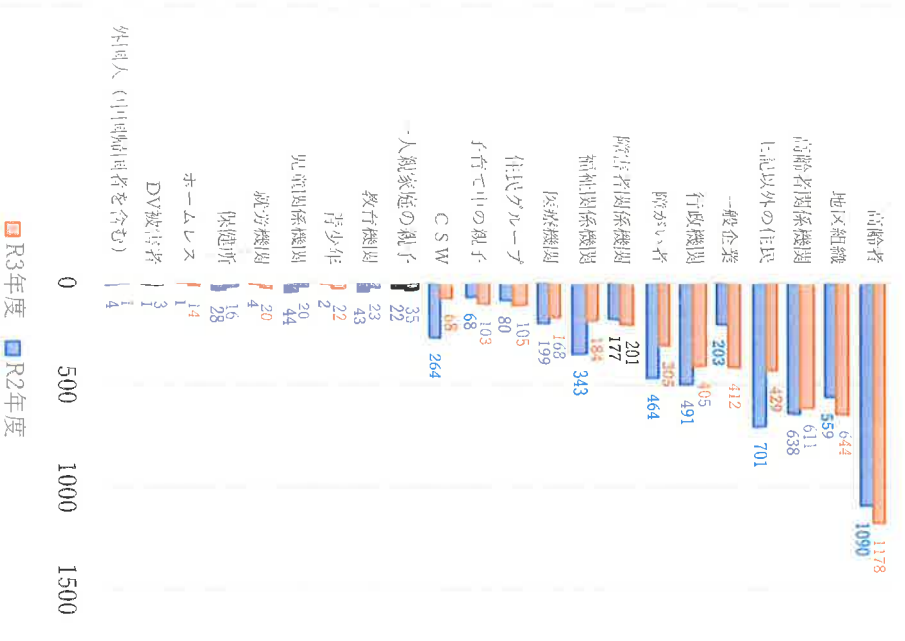


# 令和3年度 個別相談件数

～相談対象者と主な相談内容について～

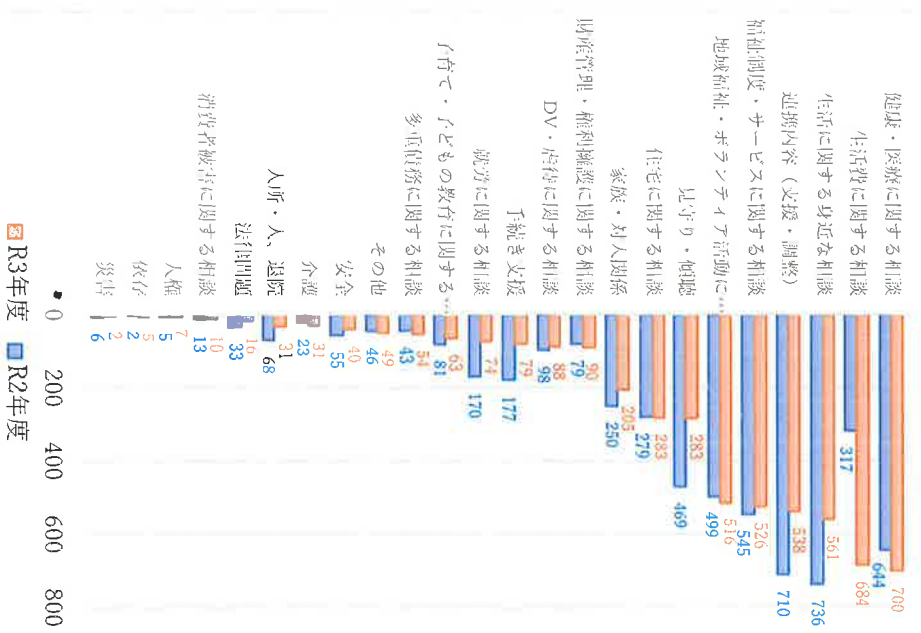
①相談対象者件数  
【計のべ 4967件】

対象別 R2年度 R3年度比較



②相談内容件数 (同一者複数回を含む)  
【計のべ 4935件】

相談内容別 R2年度 R3年度比較



今年度の相談対象者内訳では、新型コロナウイルス感染予防対策のため各機関の活動中止が多かったため、相談件数が昨年より1割程度減少した。グラフからも見て取れるように、関係機関と、上記以外の住民からの相談が減少した。増加している高齢者は、地域活動の減少や外出不足による虚弱の増加などの相談が多かったように思える。おおむね65歳以上の高齢者の相談は、高齢者単独の相談だけに限らず、8050・7040の問題など、地域包括支援センターと協力して活動する中で、世帯の重層的な課題が見えて関わることも多くあった。そのような世帯に暮らす50代前後のひきこもりがちな方へのアクセスや、孫世代の生活困窮に対するアプローチを、CSWや教育関係機関が担うなど重層的な支援体制づくりの一歩となった。

# 令和3年度 実人数割合件数

## ～相談対象者と主な相談内容について～



相談内容別では、生活費に関する相談が2倍に増加。親世帯と同居の子どもの失業、概ね派遣切りと言われる形での失業による生活困窮の支援、新型コロナウイルスに関する給付金の申請依頼の支援も多くあった1年だった。コロナ禍による親の失業によって、子どもの生活環境の変化が余儀なくされる（私立学校から公立学校への転入）など、世帯全体に影響を与える事案もあった。今年度グラフから見て取れるのは、高齢者とその他（上記以外の住民）が減少し、障がい者、子育て中の親子が増加した。これらは、CSW 事業所が子育て支援に注力したことが影響したのではないかと考える。子育て支援イベントをする中、障がいをお持ちのお子さまの相談も増加した。年齢別には高齢者が多いが、こちらは相談を受けて地域包括支援センターに引き継ぐ流れができています。今年度40代・50代の相談者の増加は新型コロナウイルスの影響での失業などの相談が多かったためと考えられる。



## おわりに～各事業所より～

### ■NPO法人 ほうじょう

当法人は、大東市立北条人權文化センターの中に事務所をかまえている法人であります。地域住民がふらっと来館し、相談がしやすい環境となっております。そのため、住民同士のトラブル相談件数が多くなっております。また、市の施設の中にある事務所なので、行政サービスに関する相談も多くなっております。また、今年度は、認知症や精神障害者に関する相談も多くなっております。

### ■NPO法人 大東野崎人權協会

当法人は、大東市立野崎人權文化センターの中に事務所を構えている法人です。CSW事業以外にも総合生活相談や就労、進路、人權相談など様々な相談に対応しています。令和3年度までは自己破産や依存症等の絡んだ複雑なケース、突発的な精神疾患の悪化に対応し通院同行するケースや、新型コロナウイルス接種同行等もありました。また今年度の秋ごろからは地域の方の居場所「なごみカフェ」も始まる予定です。

### ■NPO法人 あとからゆっくり

個別相談では、対象者のリソースを洗い出し、強みを活かせることを意識した自立支援を行ってきました。また地域の関係機関、地域役員からの相談も増え、対象者へのアプローチの仕方や心理教育、助言なども行っています。1月には、地域の空き家を活用して、地域自治会との共同で多世代交流の拠点をつくり、重層的支援体制を意識した取り組みを運営、サポートしています。CSWの個別相談でつながった対象者の方が、「支援される」ではなく「支援する、活躍できる」場にもなっています。

↓空き家を活用した地域ICT活用の様子（あとからゆっくり）



■慶生会住道

各種申請同行と子ども食堂、フードバンク関係の動きが多い傾向にありました。申請関係は「金銭」の割合が高い中、「ボランティア活動」に関するお手伝いできた点が新しい視点です。コロナ感染対策としてお弁当配布だけとなった子ども食堂も、関係者の皆様の努力で各地で継続することができています。

■大東市社会福祉協議会

コロナ禍でも「つながり」を絶やさないために、地域住民などを対象に ICT 講習を実施しました。

実施した ICT 教室の様子 →



■暮らしいきいき館

2021 年度も新型コロナウイルスのため地区活動である子育てサロンは中止、高齢者サロンも数回の開催となり寂しい 1 年となりました。地域ケア会議に参加して、新たな見守りサービスの企画を行うことはできました。今後も地域に安心して暮らせる支援を行っていききたいと思います。

■ホーリーハート大東

諸福校区担当の西村です。昨年度はコロナの影響で緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置で地域活動がほとんど行えない状態でした。そんな中でも数回開催された地域サロンにコロナ禍でも参加していただき元気なお顔がみれてよかったです。

大東市コミュニティソーシャルワーカー協議会

NPO法人 ほうじょう

NPO法人 大東野崎人権協会

NPO法人 あとからゆっくり

慶生会住道

大東市社会福祉協議会

暮らしいきいき館

ホーリーハート大東